
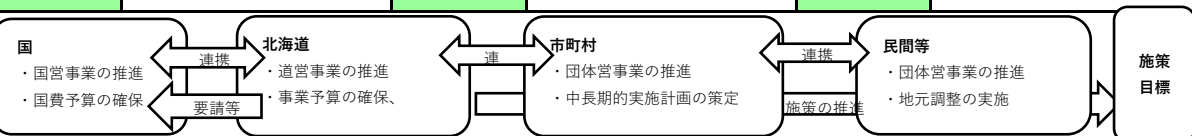


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	農政部	所管課	農村設計課、事業調整課、農業施設管理課、農村計画課、農地整備課、農村整備課	
施策名	農業農村基盤整備における防災・減災対策の推進			施策コード	06041	
政策体系(中項目)	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮			政策体系コード	1 (7) B	
知事公約	C0085	総合戦略	A3241	国土強靱化	B4211 B4321 B4431 B6111 B6112	事務事業数 76
SDGs				総合判定	順調	

**【1 Plan】**

施策目標	平時、災害時を問わず、いかなる事態においても安定した食料供給機能を維持できるよう、耐震化や老朽化対策などの防災・減災対策も含め、農地や農業水利施設等の生産基盤の整備を着実に推進する。					
現状と課題	地震等の大規模災害や、近年多発している冷湿害等の異常気象の事態にあっても、消費者が求める高品質な食品を安定的に供給することが求められており、その機能を高めるためには生産基盤整備の着実な推進が重要である。					
主な取組	農業生産の維持、農業経営の安定を図るための農地や農業水利施設等の防災・減災対策を実施。ため池のハザードマップ作成や地震・豪雨対策に係る詳細調査を実施。農地海岸保全施設及び地すべり防止維持管理施設の個別施設計画策定に必要な点検診断を実施。					
予算額(千円)	R3	26,953,810千円	R2	27,373,312千円	R1	30,330,143千円
施策のイメージ						

**〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
北海道が造成した基幹的な農業水利施設における個別施設ごとの長寿命化計画の策定割合	目標値		53	73	100	100	100%	A
	実績値		53	73	100			
設定理由	北海道が造成した基幹的な農業水利施設における個別施設計画の策定割合。北海道強靱化計画に基づき、食料生産基盤の整備や長寿命化対策を推進する指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
老朽化する農業水利施設の長寿命化対策を推進するため、施設毎の劣化状況に応じた予防保全対策や対策時期、施設の監視計画などを定めた個別施設計画を定期的に更新・策定していくことは重要である。目標どおり、R2に全て策定。								

指標名②	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R2)	達成率	指標判定
農業集落排水施設の機能診断実施率	目標値		86	100	100	100	100%	A
	実績値		86	100	100			
設定理由	農業集落排水施設の劣化状況等を把握するために行う機能診断の実施率。北海道強靱化計画に基づき、農業集落排水施設の防災対策の進捗状況を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
道は取組を促進する形で関与。各種会議等を通じた関係市町村への周知徹底により目標どおりR2に全て策定。								

指標名③	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R2)	達成率	指標判定
農道橋・農道トンネルを対象とした機能保全計画の策定割合	目標値		71	87	100	100	100%	A
	実績値		74	97	100			
設定理由	農道橋・農道トンネルの長寿命化のための機能保全計画の策定割合を、北海道強靱化計画に基づき、農道橋等の防災対策の進捗状況を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
道は取組を促進する形で関与。各種会議等を通じた関係市町村への周知徹底により目標どおりR2に全て策定。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	農業農村基盤整備における防災・減災対策の推進	施策コード	06041
---------------	-----	------------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	北海道が達成した基幹的な農業水利施設における個別施設ごとの長寿命化計画の策定割合	53	73	100	100	A
	農業集落排水施設の機能診断実施率	86	100	100	100	A
	農道橋・農道トンネルを対象とした機能保全計画の策定割合	74	97	100	100	A
目標(指標)の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定に向けた現地研修会の開催や土地改良事業団体連合会(土地連)主催の技術研修会の参加要請、全道課長会議等を通じ、個別施設計画策定に対する理解の促進など、目標の達成に向けた取組を実施。</li> <li>各施設管理者への定期的な指導の元、R2までに達成。</li> </ul>				指標総合判定	A
連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地連と連携し、施設管理者を対象として現地研修会や技術研修会を実施するとともに、土地連が主体的に実施する施設の定期診断情報を、個別施設計画に反映。</li> <li>補助事業の積極的な活用等の取組への支援と進捗管理を実施。</li> </ul>				連携判定	○
緊急性優先性	<p>農村の強靱化に不可欠な農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進するため、当初予算をはじめとした予算総額を安定的に確保するよう、農林水産省に対して各種提案を行っている。</p>				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	<p>農村の強靱化に不可欠な農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進することにより、社会情勢や道民の要望等を踏まえた課題に対応し、効果的な取組が行われている。</p>				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	次期対策として、個別施設計画の更新・新規策定対象施設の策定を計画的に実施。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況(R3.3時点)
R3年度二次政策評価	

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<p>令和3年度から令和7年度までの5か年を2期対策期間として、令和3年度に改定した個別施設計画策定マニュアルにより、精度の高い個別施設計画の策定について、施設管理者への策定にかかる説明会の開催などの支援を行い、計画的に策定を進める。</p>

<b>令和3年度 補助指標調書①</b>	<b>施策名</b>	農業農村基盤整備における防災・減災対策の推進	<b>施策コード</b>	06041
----------------------	------------	------------------------	--------------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名①	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R3)	達成率	指標判定
防災重点ため池のハザードマップの策定割合		目標値	54	71	87	100	111.5%	A
		実績値	65	72	97			
<b>設定理由</b>	決壊すると多大な影響を与える防災重点ため池の市町村によるハザードマップの策定割合。北海道強靱化計画に基づき、防災重点ため池の防災対策の進捗状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
R3年度：ハザードマップ作成4か所 R3年度：年度途中により実績値なしのため直近（R2実績）の実績値								

補助指標名②	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R2)	達成率	指標判定
農地海岸保全施設に係るインフラ長寿命化計画の策定割合		目標値	47	65	100	100	100.0%	A
		実績値	48	72	100			
<b>設定理由</b>	北海道インフラ長寿命化計画に基づき、農地防災施設の長寿命化の取組の進捗状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
平成27年度より施設の点検・診断を行い、その結果に基づき個別施設計画を順次策定。目標とおりにR2年度に全て策定。								

補助指標名③	増加	%	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標 (R2)	達成率	指標判定
地すべり防止維持管理施設に係るインフラ長寿命化計画の策定割合		目標値	39	85	100	100	100.0%	A
		実績値	64	85	100			
<b>設定理由</b>	北海道インフラ長寿命化計画に基づき、農地防災施設の長寿命化の取組の進捗状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
平成27年度より施設の点検・診断を行い、その結果に基づき個別施設計画を順次策定。目標とおりにR2年度に全て策定。								

補助指標名④	増加	%	—	R元年度	R2年度	最終目標 (R6)	達成率	指標判定
防災重点ため池の耐震性、豪雨に関する詳細調査の実施割合		目標値	—	—	71	100	95.8%	B
		実績値	—	—	68			
<b>設定理由</b>	ため池の耐震性、豪雨に関する詳細調査の実施割合。北海道強靱化計画に基づき、防災重点ため池の防災対策の進捗状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
R2防災重点ため池の再選定（追加）により総数が増。→ R2実績値が減。 見直しによりR3目標値は68% R3年度：年度途中により実績値なしのため直近（R2実績）の実績値 R6最終目標達成年。								

補助指標名⑤	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

